

政治史Ⅱ

科目ナンバリング POL-104

選択 2単位

渡邊 啓貴

1. 授業の概要(ねらい)

ヨーロッパの国際関係史の大きな流れとそれを理解するための理論・概念について講義する。世界の国際関係の動きの基礎となる歴史を習得する。

2. 授業の到達目標

ウェストファリア体制・西欧主権国家体制の確立からはじまるヨーロッパ国際関係の歴史の概要を理解し、今日の欧州政治を理解する基礎作りをする。今日の国際関係の前提を把握できるだけの頭づくりを行う。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験(70%)・出席(30%)などによる総合評価

4. 教科書・参考文献

教科書

渡邊啓貴 『ヨーロッパ国際関係史』 有斐閣

渡邊啓貴 『米欧同盟の協調と対立』 有斐閣

5. 準備学修の内容

教科書をあらかじめ読むと同時に、日ごろから授業で取り上げた文献などに目を通しておくこと

6. その他履修上の注意事項

歴史は出席していないとわからなくなるので休まず出席すること

7. 授業内容

【第1回】 第一次世界大戦とグローバリゼーション

【第2回】 ドイツ賠償問題

【第3回】 1920年代の相対的安定期

【第4回】 大衆文化の時代

【第5回】 ファシズムの時代

【第6回】 世界大恐慌

【第7回】 ナチスヒトラー政権の誕生

【第8回】 人民戦線

【第9回】 宥和政策①

【第10回】 宥和政策②

【第11回】 宥和政策③

【第12回】 ポーランド・ソ連との交渉

【第13回】 第二次世界大戦①

【第14回】 第二次世界大戦②

【第15回】 まとめと期末試験